

尾花沢地区 公民館だより

令和3年5月1日発行 ■ 尾花沢地区公民館 (Tel. 23-2016・Fax 24-0383)
〒999-4225 若葉町1丁目4番27号(サルナート内事務室) E-mail: oba_k@city.obanazawa.yamagata.jp

5月の予定

- 3日(月)~5日(水) 徳良湖まつり 延期
- 3日(月) 花笠マラソン 中止
- 14日(金)花笠地域安全活動(ヤマザワ尾花沢店)
- 15日(土)~16日(日) 野草展(アリーナ入口付近)
- 20日(木) 歴史講座 I ①(悠美館ハイビジョンホール)
- 26日 さわやかあいさつ運動(北村山高校)
- 27日 さわやかあいさつ運動(尾花沢中学校)

野草展

- ◎期日：5月15日(土)~16日(日)
- ◎時間：10:00~16:00
- ◎場所：サルナートアリーナ入口付近



※新型コロナウイルス感染予防の為市外の方はご遠慮願います。
マスクの着用をお願いします。

尾花沢地区の人口と世帯
(R2.4/1現在) (前月比)
男性：3,399人 (-27)
女性：3,637人 (-23)
合計：7,036人 (-50)
世帯数：2,589世帯(-7)



尾花沢地区の人口と世帯
(R3.4/1現在) (前月比)
男性：3,339人 (-16)
女性：3,550人 (-17)
合計：6,918人 (-6)
世帯数：6,889世帯(-33)

おばけん
2021

歴史講座

◎歴史講座 I 『尾花沢市史を読む』2021



- 期日・・・1回目：5月20日(木)
「中世の展開と尾花沢」
- ◆講師 梅津 保一 先生
- ◆会場 悠美館ハイビジョンホール
- ◆時間 10:00~11:30

住み続けられる地域づくりを目指して！

尾花沢地区区長会 会長 笹原 光政



令和三年度がスタート致しました。尾花沢地区には、二十七の町内会があり、二十七人の区長さんがおられます。今年度は、区長の改選期で十一名の区長さんが交代されました。

永年(五年以上) 勤続いただいた区長さんには、市の表彰規定や区長会の表彰規定により、表彰状及び記念品をそれぞれ贈呈させていただきます。

行政の最前線で活動され、地域住民と行政とのパイプ役として、地域の課題や問題点、又、住民の皆様への困り事の相談等々、地域の発展と住民の皆様の「幸」づくりのため、色々ご尽力いただき、心より感謝申し上げます。

只、昨年二月頃から始まった、コロナウイルスの感染拡大により、それぞれの地域における種々の事業及びイベントが、感染予防、拡大防止、生命を守るなどの観点から、中止及び延期を余儀なくされ、残念に思っている方は沢山おられると思います。

しかし、そんな状況にあっても、『第七次尾花沢市総合振興計画』策定に係る「まちづくり座談会」を開催し、市民の皆様よりご意見ご提言をいただきました。そして、「新たな地域づくり懇話会」を立ち上げ、『集落が元気で暮らし続けるために』をテーマに、区長会やふるさと実行委員会の皆様より、多くのご意見ご提言をいただきました。

これらを基にし、今後の活動の方向付けをしつかり行って「住み続けられる地域づくり」を、皆様と共に目指したいと思えます。

山形県内におけるコロナ感染者は、未だに増加傾向にあり、その収束感が見えませんが、早期にワクチンの接種が進みますことを願っています。ご挨拶と致します。

令和3年度 尾花沢地区区長会紹介

地区名	氏名	役職	地区名	氏名	役職	地区名	氏名	役職
中町	鈴木 東	◎	桮町3	☆菅野 懋		新町5	☆大類 茂雄	
上町1	☆土屋 雄一		横町1	鈴木 征司	会計	荒楯	笹原 光政	◎会長
上町2	鈴木 徹		横町2	☆田中 幸雄		二藤袋1	大山 栄一	
若葉町	小埜 政美	◎	北町	和田 暁	◎	二藤袋2	細矢 昭雄	◎
上町3	☆間宮 広志		新町1	大崎 儀治		朧気	☆齊藤 強志	
上町4	☆早坂 覺		新町2	☆佐々木 俊美		横内	加藤 三雄	
上町5	柴田 文夫	◎	新町3	☆伊藤 次直		五十沢	石塚 清	◎
桮町1	鈴木 勲	◎副会長	新町東	佐藤 好政	◎	田沢	☆大類 幸喜	◎
桮町2	笠原 征男	監事	新町4	三浦 勝美		牛房野	☆星川 敬雄	監事

※今年度、役員改選の年にあたり上記の方々が区長に就任されました。よろしくお願ひ致します。

☆新区長 ◎代表区長

地域づくり事業

従来の「体力づくり事業」と「地域づくり事業」を統合し、新たに「地域づくり事業」とし助成金を拡充します(年2回まで補助対象)

目的…各集落が地域の元気力向上のため自ら行う創造的な地域活動事業の経費に対して、尾花沢地区ふるさと振興推進事業実行委員会より助成金を交付致します。

補助内容

- ◎体力づくり事業《例》グラウンドゴルフ大会、輪投げ大会、運動会、レクリエーション大会など
- ◎地域づくり事業《例》研修会、地域サロン、子育てサロン、高齢者の居場所づくり、交流会など
- ※同一日に「体力づくり事業」と「地域づくり事業」の両方実施する場合、重複補助はできないものとし1回分のみ補助します。
- ◎対象経費《例》賞品代、事務事業消耗品費、保険料、会場使用料、謝礼、賄材料費など
 - ① 助成額は、令和3年度から事業経費の9/10以内で上限30,000円に拡充されました。
 - ② 他の補助金との併用は対象外とします。
 - ③ 会食のみを目的としての事業は対象外。
- 《例》懇親会費、食事代、酒代など食糧費は対象外(芋煮会のみは、対象外)
- ◎申込&お問合せ先 尾花沢地区公民館 ☎23-2016

ぜひ、ご活用下さい(5月から随時受付)



尾花沢小学校(尾花沢代官所跡)

尾花沢の歴史『尾花沢代官』⑫

【尾花沢代官の変遷について解説します】

尾花沢代官所跡



⑭竹垣正蔵直清代官 文政11年(1828)8月9日～天保2年(1831)7月25日
文政12年(1829)に善佐と改名。

遠州・三州支配代官から羽州に赴任した。平岡代官と支配替えとなったのである。

⑮大貫次右衛門光證代官 天保2年(1831)7月25日～弘化2年(1845)2月

竹垣代官が越後国出雲崎代官所へ転任、後任に甲州石和代官から大貫次右衛門が赴任した。

天保6年(1835)寒河江附分2万石が増高になったが、そのうち谷地・工藤小路・松橋・田井の4カ村が尾花沢附となり、溝延村ほか山寺近辺が東根附となった。ついで、天保12年(1841)に上知令によって、山形藩秋元氏川越領3万6千石余と村替のため、村山郡の幕府領と米沢藩預所漆山領の一部が山形領となった。

大貫次右衛門は、天保2年(1831)7月25日に甲斐国石和代官より出羽国尾花沢代官となり、天保15年(1844)3月12日尾花沢で病死するまでの14年間、民政にすぐれた手腕をふるった名代官である。

『北村山郡史』下巻に、「尾花沢代官大貫次右衛門逝去、享年五十、尾花沢龍昌寺ニ葬ル、君性精敏ニシテ慈仁、学ヲ好ミ士ヲ愛ス、天保ノ飢饉ニ際シ、奮然起テ救済ニカム、管下ノ領民其ノ厚德ニ感泣ス、君逝テ三周年、碑碣ヲ龍昌寺境内ニ建テ、英名ヲ不朽ニ伝フ」とある。

江戸時代後期の国学者小山田与清は、「近来有徳の御代官、死して後、土民その墓を作り、碑を建て、或は叢祠を建て祭ること有、早川八郎左衛門・大貫次右衛門・小野田三郎右衛門等、其仁徳世に風聞す」(『松屋筆起』三七)と記している。

《文責 梅津保一》